こどもの城ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2005・2・15 NO.157

発行／〔こどもの城〕広報部☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

歓(かん)さつしよう！

冬の地面に葉を広げた姿で越冬している草です。この形がバラの花に似ているので、ロゼットと呼ばれます。

葉を広げて、冬の少ない日の光を全身で受けとめます。地面にふたをすることによって、根が乾燥したり、寒さでこおったりしないようにしています。

春の暖かい日を浴びると、待ってましたとばかりに背をのばし始めます。植物が持つ不思議な知恵です。

（横浜・こどもの国）

ユースクラブ　10代前半の子どもための“遊びのクラブ”

仲間と〈あそび〉楽しむ

〔こどもの城〕には、10代前半の子ども（小学校5年生～中学校3年生）のための“遊びのクラブ”があります。『ユースクラブ』という講座です。毎月2回、日曜日に集まって、年齢の異なる仲間といっしょに何をするかを相談し、みんなでさまざまなことにチャレンジしています。近くの公園でおもいっきり体を動かして遊んだり、クラフトやクッキングを楽しんだり、“街”の観察に出かけたり、みんなで“遊び”を作って〔こどもの城〕に遊びに来た子どもたちといっしょに楽しんだり――『ユースクラブ』では、メンバーの一人ひとりの気持ちを大切にしながら、夢中になって“まじめ”に遊んでいます。

〈あそび〉から多くのことを学ぶ

おもしろい、楽しいということだけでなく、私たちは多くのことを〈あそび〉のなかから身につけていきます。走り回って鬼ごっこをしたり、手を使い工夫しながら“もの”を作ったり――夢中になって何かに取り組むことのおもしろさを知ることができます。運動する力をのばしたり、体をおもいどおりに動かす力も身につきます。また仲間が集まれば、みんなが楽しく遊べるようにルールも生まれ、人をおもいやる気持ちも自然にめばえてきます。

〈あそび〉をとおして、さまざまななことを体験――知識としてではなく体験することが大切。知らず知らずのうちに生きていくために必要なことを身につけていきます。

『ユースクラブ』の活動は、いろんな〈あそび〉にチャレンジしよう、仲間といっしょに〈あそび〉を楽しもう、自分たちの夢を実現しよう――の3つが目標です。そして「イヤだ、という人が一人でもいれば、それは採用しない」という不文律があります。とことん話し合って、みんなの意見・考えを尊重し、それぞれのアイデアをプログラムに生かして活動しています。

自分たちで活動プログラムを作る

『ユースクラブ』の活動は、〔こどもの城〕のほかの講座と同じように、4月にスタートして翌年の3月までが一つの区切り。4月には5年生を中心に新メンバーがたくさん加わります。

4～7月は、仲間作りを進めるプログラムが中心。小グループで活動して、メンバー同士が互いに名前と顔を覚え、きがるに声をかけあえるような関係作りをめざします。互いの存在・考えなどを認めあい、年齢に関係なく一人ひとりが自分を主張していける“だれにでも開かれた”グループが『ユースクラブ』。新メンバーも自然に仲間に入っていけます。長年にわたって活動してきた“伝統”なのかもしれません。

9～12月は、たくさんの人の集まりのなかで、ほかの人の気持ちを考え、仲間といっしょに力を合わせていくことの大切さが体験できるような活動。そして、最後の1～3月は、みんなの夢を集めて一つのものを作り上げます。

『ユースクラブ』のユニークなところは、プログラム内容が最初に決まっていないこと。何をするのかは、メンバー自身が決めていきます。みんなの意見がまとまれば、できることなら何でもできますが、反対に何も考えていないと何もできません。集まった子どもたちで相談しながらプログラムを決めていきます。

2004年度『ユースクラブ』の活動プログラム

4～7月＝みんなヨロシク!! ゲーム大会／思い切り遊ぼー!! ゲーム in 代々木の森／～小江戸の旅～川越　蔵と歴史の物語／魅惑のスイーツ! コロコロ大騒動の巻／こどもの城を楽しもう!! 館内のマル秘探し大作戦／本格クッキングUDON作りに挑戦
9～12月＝ワクワク!! ドキドキ!! ウキウキ!! ゲーム大会＆何やりたい？ 企画会議／思い切り遊ぼー～館内文字探しゲーム／すきなものを焼くから～スキ焼き大作戦! ／UENO　ZOOーといってみよう! ／企画会議～みんなの夢をかなえよう／夢の実現プロジェクト～あそび＆パーティー（館内宿泊）

仲間がいて、私がいる

今年も4人の中学3年生が3月に『ユースクラブ』を卒業していきます。小学5年生のときからずっとメンバーだった人もいれば、まだ2年目という人もいます。でも、4人に共通するのは『ユースクラブ』への思い。みんな声をそろえて「まわりにたくさんの仲間がいて、自然なままの自分でいられる場所だ」と言います。話を聞いてみました。

年齢に関係なく人の輪が広がる

「ふつうに生活をしていたらできないような、いろんなことができるのが『ユースクラブ』。個性豊かなメンバーがいっぱいいてゴチャゴチャしているけど、なぜか楽しい。学年に関係なく遊べる。人の輪が広がる場所だと思う」と桂井優(かつらいまさし)さん。「外遊びをしたい、人が集まって何かをすることを考えたい――など、自分たちで考えた遊びの企画ができてうれしかった」と話します。

中学2年生だった昨年は、3年生が少なかったこともあり、話し合いのときには自然に前へでてきて進行役に。「基本的に、年齢は気にしないのが『ユース』。互いに認めあっているので、気軽に発言できる。多数決で決めないのがいい。一人でもイヤ、というものはやらないし、どこかで自分の案を生かしてもらえる」。おたがいを認め尊重し、言うべきことは言い、意見が食い違ったときには時間をかけて納得するまで話し合う。“本気で遊ぶ”ことをとおして強い信頼関係がはぐくまれているようです。

“本気で遊ぶ”のが楽しい

「（メンバーになって）2年ぐらいなので、よく分からないけど、すぐなじみやすいところ。新しい環境という気がしない」というのは、山本(やまもと)ありすさん。「通っているのが女子校なので、（いろいろなことを考えて）なかなか本気で話せない。『ユース』は常に本気。リーダーも本気。いろんなことを真剣にやろうという雰囲(ふんい)気がある」と“本気で遊ぶ”楽しさがよかったと話します。

「学校と違うのは、年齢の違う人が集まっているところ。（いっしょに活動している、年上の）リーダーもいる。最近、リーダーの存在が気になりはじめた」と言います。メンバーの一員としてだけでなく、最上級生としての役割を考えるようになったのかもしれません。仲間との活動をとおして、それぞれが考え、それぞれに成長していけるのが『ユースクラブ』なのかもしれません。

みんなが自分を出してたがいを尊重

土居下太意(どいしたたい)さんは、小学5年生のときからメンバーに。「年齢、性別をこえていろんな人たちと友だちになったりできるのが魅力(みりょく)。5年のときは単純に行っていて楽しいなと思っていた。年を重ねていくと、いろいろな相談ごとをリーダーに話したり、とにかく自分のなかでとても大切なものだという感じが強くなってきた」と話します。

「今って、表面的な感じや損得勘定(かんじょう)でものごとを判断する人が多いじゃないですか。『ユース』は、みんなが自分を出して、たがいがたがいをいつのまにかリスペクト（尊重する）しているところ――とっても雰囲(ふんい)気がいいんです。違う考えをもっている人が集まって、一つのことを作っていく。みんなでやっていこう、というあったかい感じがある。リーダーがみんなのことを考えてくれているし……」と、仲間がいることの喜びを話してくれました。

自分たちで『ユース』を作っている感じがする

「別の場所で『ユースクラブ』と同じことをやったら、ばかばかしくてできないと思う。遊びなんだけど、大人のリーダーも子どももみんな“マジ”で遊んでいる」と石川耕平(いしかわこうへい)さん。〔こどもの城〕まで1時間30分以上かかる郊外に住んでいます。「地域が違うと人も違う。遠いので通うのが“タルイ”こともあったけど、そのうち楽しくなった。あと少ししか活動できない」と、少しさみしそう。

「どんな活動をするのかは、みんなの話し合いで決めているから、『ユースクラブ』は自分たちでやっている感じがする。意見を言えば、（なんらかの形で）受け入れてもらえる。どうしてもやりたくないものは、（話し合っていくうちに）消えていく。少しはイヤなものも、楽しめるものになる」と、残り少ない活動をせいいっぱい楽しもうと目をかがやかせて話してくれました。

2005年度第1期受講生
〔こどもの城〕の元気な講座
受講生募集
03-3797-5666（おかけ間違いにご注意ください）
2月17日 午前10時 受付開始

人と地球の、自然なサイクルのために。

人と自然が調和する持続可能な社会の実現をめざして、
富士通グループ16万人、ひとりひとりの力をすべて結集します。私たちは、最先端のITと、
環境テクノロジーをベースにお客さまにご提供する製品、
ソリューション、マネジメントなど事業活動の全領域を通じて、
さまざまな環境活動を行いながら、豊かな地球環境の未来を創造していきます。

すべてをグリーンにします
eco.fujitsu.com/jp

FUJITSU
THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

平成17年度〔こどもの城〕講座・クラブ受講生募集

2月17日午前10時から受け付け
お問い合わせ先 ☎03-3797-5666

ふれあいを大切にしながら、子どもたちの“育ち”をサポートする〔こどもの城〕の元気いっぱいの講座・クラブ――4月から始まるコースの受講生を募集しています。〔こどもの城〕のさまざまなところでスポーツ、音楽、造形などの“遊びのプログラム”を実践しているスタッフが中心となって指導。楽しさいっぱい、仲間もいっぱいの講座・クラブです。

親子が一緒に参加するもの、幼児・小・中・高校生の子どもたちを対象にしたもの、そして子どもを取り巻く大人たちを対象としたものまで、さまざまなコースがあります。くわしくは「講座・クラブ受付係」へお問い合わせください。パンフレットも用意してあります。また、専門指導者向けの講習会・セミナーなども開催しています。

にこにこひろっぱ～遊びのおしくらまんじゅう

女性ボランティアと一緒に親子で遊ぶ

3月9～11日（1～4時）／フリーホール

〔こどもの城〕の女性ボランティアが企画する、「にこにこひろっぱ～遊びのおしくらまんじゅう」が3月9～11日に、フリーホールで開催されます。時間は1～4時。乳幼児を連れた親子がくつろいで遊べる場所で、女性ボランティアが作った遊具などで遊んだり、親子で一緒に手遊びやおしゃべりを楽しんだりできます。

段ボールで作ったすべり台やビニールプール（クッション入り）がある広場、紙パックで作った机、椅子、積み木、紙パッチンなどの手作りおもちゃで遊べるコーナーのほか、乳児向けのはいはいコーナー、一休みするセルフサービスの喫茶コーナーもあります。

毎日2回、手遊びタイムもあります。女性ボランティアが親子で楽しめる手遊びを紹介して、みんなで遊びます。

三角形のトンネルのような段ボールのすべり台

こども歳時記～桃の節句　3月3日まで／造形スタジオ
2月26・27日／プレイホール　**みんなでひなまつり**

3月3日は「桃の節句」。造形スタジオとプレイホールでは、日本の伝統行事の桃の節句をテーマにしたプログラムを行います。

造形スタジオでは、「こども歳時記～桃の節句」を3月3日まで開催。

ひなまつりプログラム

親子コーナーでは「ひながえし」（写真右）、子どもだけで作るコーナー（土・日曜日に開催）では「かたぞめびな」（対象＝小2以上、写真左）を作ります。

「ひながえし」は、ひっくりかえすとおびな↔めびなと変身します。「かたぞめびな」は、型染という方法で染めた布を人形に着せて作るひな人形です。

プレイホールでは、2月26・27日に「みんなでひなまつり」。

ひな壇には、さまざまなものが飾られていますが、そのほとんどは、平安時代の宮中の暮らしに由来するものです。「みんなでひなまつり」では、ひな壇にちなんだ、いろいろなゲームを行います。

子育てネットワーク全国フォーラムを開催

子育てネットワーク全国フォーラム「思春期までを視野に入れた子育てネットワーク活動」が、1月29日に〔こどもの城〕で開かれ、全国各地から子育てネットワークにかかわっている人など150人が参加しました。独立行政法人福祉医療機構子育て支援基金助成事業。

第1部では、乳幼児支援が中心であった“子育てネットワーク”の活動を、小・中学生やその保護者をも巻き込んだ活動にシフトさせて活動を展開した9つの地域のモデル事業の成果が報告されました。

モデル事業報告を行ったのは、さっぽろ子育てネットワーク、NPO法人子育てサポーター・チャオ（埼玉県越谷市）、子育て広場きらら（東京都小平市）、乳幼児子育てネットワーク・ひまわり（北九州市）、NPO法人新座子育てネットワーク（埼玉県新座市）、さいたま市子育てネットワーク、NPO法人ふれあいサポートちゃてぃず（岡山県日生町）、佐倉子育て応援団（千葉県佐倉市）、NPO法人子育てネットワークとかち（北海道芽室町）。

第2部は「乳幼児と小・中・高校生とのふれあい事業について考える」「スポーツを通じたネットワークづくり」「学校と子育てネットワークの連携を考える」「児童館と子育てネットワークの連携を考える」「街づくりの視点からみた子育てネットワーク」の5つのテーマで分科会を行いました。

こどもの城児童厚生員等実技指導講習会終わる

こどもの城となかまたち

“発想”を豊かにして自分で作る

手づくりおもちゃの可能性を考えました

平成16年度第3回「こどもの城児童厚生員等実技指導講習会」が、1月26～28日に〔こどもの城〕で開かれました。北は青森県から南は沖縄県まで、全国から46人の児童厚生員などが参加しました。講習会のテーマは「つくってあそぶおもちゃの魅力～手づくりおもちゃの可能性を考える」。

1日目は、日本児童遊戯研究所の有木昭久所長を講師に招いて「手づくりおもちゃの発想法～指導者の視点で学ぶ」のワークショップ。子どもは、椅子を馬や自動車に見立てて遊ぶ――そういう発想が大事と話した後、何人かの参加者に知っている“ブンブンゴマ”を前に出てきて書いてもらいました。

形はいろいろですが、共通するのはヒモがある、回るものがある、穴が2つあいていることなど。共通しているものを確認してから、ビニール袋に入れられたたくさんの手作りのおもちゃのなかから、ブンブンゴマを探しだします。手にふれずに、形などから想像をめぐらせて、どういうふうに遊ぶのかを考えながら探します。

選び出したものを、それぞれ選んだ人に遊んでもらいます。ビニールホースの切れ端やフィルムケースにヒモがついたもの、セパタクローの籐製のボールのようなものにヒモが通っているものなど――形はいろいろですが、ブンブンゴマの要件を満たしています。有木所長は「あるものとあるものが合体したときに、新しいものができます。発想を豊かにし、自分で考えて自分で作ってほしい」と“おもちゃ（作り）の発想法”について話しました。

後半は、ストローと紙で10個のおもちゃを作るという課題に挑戦。太さの違うストローを使って、飛ばしたり、回したりして遊ぶおもちゃをそれぞれに工夫しました。

2日目は、プレイ事業部のスタッフが〔こどもの城〕で実践している遊びを紹介。「みんなでつくって、みんなであそぶ」では、糸電話の糸を遠くまで伸ばす方法、糸電話回線の途中に割り込んで大勢で同時に話を聞く方法などを紹介。会場はクモの巣のように縦横にテグスが張られ、あちらこちらで電話を楽しみました。

みんなで“糸電話”遊び（「みんなでつくって、みんなであそぶ」から）

「つくってあそぶ研究所～サタデーラボラトリーの実践から～」では、ポンポン船、フェルト作り、携帯カイロ作りなど、科学的な要素を多く持っている遊びが紹介されました。

「手づくりおもちゃ大集合～参加児童館によるワークショップ」は、2回に分けて行われました。それぞれが準備してきたプログラム（児童館で行っているもの）に参加者が参加し、「こんな材料でもできるよ」「こんな遊び方があるよ」「ここは改良の余地があるのでは」など、感想や提案を書いて壁にはっていきます。“別の目”で遊びのプログラムが見直せ、多くの発見もありました。

「子どもにとっての手づくりおもちゃ～つくる事の歓びと豊かさを考える」は、小学校で図画工作を教えている、東京都図画工作研究会の鈴石弘之会長。子どもの発達をふまえながら、“つくる”喜びの大切さを話しました。

参加した人たちは「子どもたちに何かを教えるのではなく、子どもにまみれて、子どもの心でともに遊びたい!! と思いました」「一枚の紙から10個の遊びを考えましょうと言われたとき、ドキドキしましたが、ああ、これが自分で考える＝発想ということだなぁと。いつも何かをまねていたので、これからは、まず自分で考えるということを大切にしていきたいと思いました」「おもちゃ作りの実践を通して、たくさんのヒントとアイデアをいただきたいへん勉強になりました。発想を少し変えるだけで、おもしろさや楽しみ方が変わり、自分の頭の固さを感じました。これからは、頭を少しやわらかくして、ものごとをみつめてみたいと思います」と、感想を述べていました。

凧、凧あがれ、天まであがれ！

幼児グループの子どもたち（4・5歳児）が、〔こどもの城〕の近くにある代々木公園に出かけて凧あげを楽しみました。

ポリ袋を使って作った手作りの凧が風を受けて、冬の空に高くあがっていきました。

声を合わせて「おには～そと！」

恒例の「節分会大まめまき大会」が、プレイホールで1月29・30日に開かれました。福の神から節分の由来を聞いたのち、集まった子どもたちみんなが「鬼はそと！ 福はうち！」と声を合わせて豆をまいて鬼を退治。ひと足早く節分を祝いました。

春休み短期コース受講生募集

プログラム（指令書）を作ってロボット動かす

ロボットプログラミング入門（パソコン教室スペシャル）

3月28～31日（4日間連続）

春休み特別期間中の3月28～31日（4日間連続）に、小学生パソコン教室スペシャル「ロボットプログラミング入門」が開かれます。

二本足で歩き踊りを踊る人型のロボット、犬型のペットロボットなど――世界の最先端をいく日本のロボット技術ですが、これらのロボットの動きをコントロールするカギは、機械としての仕組みと同時に、動きの指令をするコンピュータプログラムにあります。

「ロボットプログラミング入門」では、子ども向けの教育用プログラミング言語“ロゴ”と、ブロックで組み立てるロボットを使って、ロボットをうまく動かすプログラム（指令書）作りに挑戦してみます。

命令のしかたを練習する→指令書（プログラム）の作り方を学ぶ→ロボットのカートを組み立て、コントロールする方法を練習する→ロボットの動きを競う――4つのステップをとおし、コンピュータプログラミングの基本を楽しく学び、どうすれば“かしこい”動きをさせることができるかみんなで考えます。

【日時】 3月28～31日（4日間連続）／10時15分～12時45分
【場所】 10階パソコンルーム
【対象・定員】 小学校4～6年生（3月1日現在）／20人
【受講料】 7,500円
【申し込み方法】 2月15日午前10時から、講座・クラブ受付（1階）で先着順に受け付けします。
【お問い合わせ】 プレイ事業部 03-3797-5661

パソコンで指令書（プログラム）を作りロボットを動かします。

4月1～5日（5日間連続）

春休みこども集中水泳講習会

4・5歳児と小・中学生の2コース

「春休みこども集中水泳講習会」が4月1～5日（5日間連続）に開かれます。小・中学生対象のAコースと、4・5歳児対象のBコースの2つのコースがあり、よりよい泳法を学びます。

【日時】 4月1～5日（5日間連続）／Aコース＝9時30分～10時30分、Bコース＝10時30分～11時30分
【場所】 地下2階プール
【対象・定員】 Aコース＝小学校1年生～中学校3年生（4月からの新学年）50人／Bコース＝4・5歳児（4月1日現在の年齢）40人
【受講料】 7,000円
【申し込み方法】 2月15日午前10時から、講座・クラブ受付（1階）で先着順に受け付けします。
【お問い合わせ】 体育事業部 03-3797-5660

インターナショナルスクール合同美術展

アートスケープ展2005

2月25日～3月6日　ギャラリー

首都圏のインターナショナル・スクールの子どもたちの合同美術展「アートスケープ展2005」が、2月25日～3月6日に〔こどもの城〕1階ギャラリーで開催されます。〔こどもの城〕が開館した翌年（昭和61年＝1986年）の4月に開催されてから、毎年開かれているもので、〔こどもの城〕での開催は今回で20回目。

日本で生活している数十か国の子どもたちが、絵画・版画・写真・陶芸などさまざまな表現方法を使って制作した、数百点の平面・立体作品を展示。作品をとおして、いろいろな国の同年代の子どもたちとふれ合うことができます。下記の14校が参加を予定。

聖心インターナショナルスクール、セントメリー・インターナショナルスクール、ニール・キニック・ハイスクール、クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン、アメリカン・スクール・イン・ジャパン、横田ハイスクール、横田ミドルスクール、横須賀ミドルスクール、清泉インターナショナルスクール、横浜インターナショナルスクール、ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ、西町インターナショナルスクール、ニュー・インターナショナルスクール、武蔵野東学園。

「アートスケープ展」の会場（昨年）

施設見学

□12月10日＝港区立高陵中学校1年生3人。進路学習の一環として「職場訪問」。勤労の意義、大切さ、尊さを知って自己の生き方に役立てるため。

■青山劇場　☎03-3797-5678　http://www.aoyama.org

インフォメーション INFORMATION

青山劇場

●危険な関係
▽2月9～16日▽S席＝14,000円、A席＝12,000円　（問）03-3234-9999

●ファニー・レディー2～ゆかいなご婦人たち～
▽2月17日▽8,000円　（問）03-3201-8116

●舘野泉&岸田今日子「音楽と物語の世界」
▽2月18日▽S席＝6,300円、A席＝5,250円　（問）03-3479-2245

●「デモクラシー」
▽2月22～28日▽S席＝10,000円、A席＝8,000円、学生席＝5,000円　（問）03-3490-4949

●SHINKANSEN☆NEXUS「荒神～AraJinn～」
▽3月7～29日▽S席＝9,500円、A席＝8,500円　（問）03-3372-9574

●林英哲コンサート「レオナールわれに羽賜べ」
▽4月15～17日▽6,500円　（問）03-3796-3313

●丸美屋食品ミュージカル「アニー」
▽4月23日～5月8日▽S席＝7,800円、A席＝5,800円　（問）03-6215-0404

青山円形劇場

●日韓ダンスコンタクトVol.2
▽2月16・18・20日▽3,000円　（問）03-3797-5678

●国府弘子コンサート・ツアー“Uncovered”
▽2月21日▽6,000円　（問）03-3470-9999

●日本映画学校俳優科17期生卒業公演「フシギの国のジュールダン氏」～モリエール「町人貴族」より
▽2月24～28日▽2,000円　（問）044-951-2511

●ペテカン 10th Anniversary-Act「黄色の窓から」
▽3月3～6日▽3,300円（当日＝3,800円）　（問）03-3557-6563

●The End～ヒロシマ2005～
▽3月15～17日▽4,500円（当日＝5,000円）　（問）042-571-5652

●InnocentSphere Presents Aoyama First Act#5「HELL FIGHTER」
▽3月23～28日▽3,000円（当日＝3,300円）　（問）070-5460-6865

●原田真二 Acoustic Night2005
▽4月1～3日▽6,500円　（問）03-3498-9999

●月影十番勝負 第九番「猫と庄造と二人のおんな」
▽4月7～17日▽4,800円（当日＝5,000円）　（問）03-3372-6207

2月のBスタジオの催し

■2月20日　わいわいスタジオ「大地をゆるがす太鼓のひびき」
1時30分、3時30分
湯島（文京区）に伝わる、小粋でいなせな“助六太鼓”。出演は、〔こどもの城〕の音楽講座「和太鼓グループ」を指導している、助六太鼓保存会の今泉豊さんほか。

■2月27日
不思議な映像実験室「絵がうごいてみえるおもちゃの展示とワークショップ」
11時00分～5時30分
映画やビデオのルーツである“うごいて見えるおもちゃ（視覚玩具）”――プラクシノスコープ、フリップブック、紙シネマ、ライトパノラマなど――の、さわって、見る展示と、3種類のワークショップを行います。ワークショップの内容と時間は以下のとおりです（時間内随時受け付け）。
☆「ソーマトロープ」＝11時30分～12時30分
☆「フィルムに絵を描こう」＝1時30分～2時30分
☆「ぱたぱたアニメ」＝3時30分～4時30分